

銚子ダムだより

第14号

平成23年12月発行

島根県隠岐支庁県土整備局
管理グループ

電話(合庁) 2-9752

電話(ダム管理所) 2-4362

平成23年 3大ニュース!!!

①ダムの見学会

毎年、多くの学校のみなさんが春頃にダムの見学に来られます。今年是有木小学校のみなさん(5月6日)と西郷小学校のみなさん(6月13日)がダムを見学されました。

銚子ダムの果たしている役割についてビデオなどで勉強した後は、機械室や監査廊といったダムの設備を実際に見ていただきました。

【よせられた質問】
・ダムの水が全部なくなったことはありますか？
・ダムの水があふれたことはありますか？

【答え】
ダムができてから、全部の水がなくなったことはありません。平成19年(4年前)には、大雨でダムの水があふれたことがありますが、ダムのおかげで下流の被害を防ぐことができました。

【よせられた質問】
監査廊(ダムの内部)はどうしてこんなに寒いのですか？

【答え】
ダムの底の方にある水は太陽の光があたらず、冷たいままです。その水がダムを冷やしています。冬は、水の方が外よりもあたたかいので、ダムの中はあたたかく感じます。

②銚子ダム 安全施設の利用点検



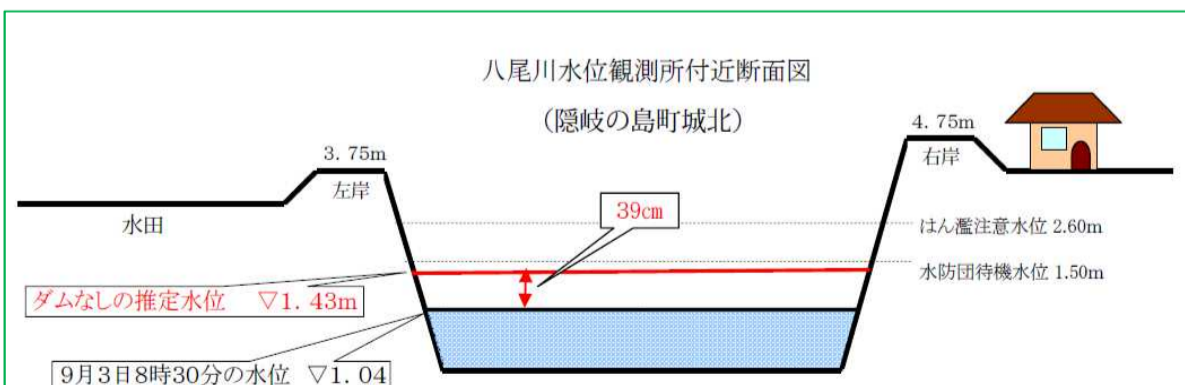
4月21日には、島根県・隠岐の島町の職員と原田地区の住民の方を交えてダムの周りを歩いて点検しました。みなさまに銚子ダムへ安心して来ていただけるよう、柵や看板の設置状況や周りの道路の路面・斜面の状況について点検することができました。

③台風襲来!

9月には台風が2度も銚子ダム周辺を通過しました。9月3日～5日にかけての台風12号の際には、銚子ダムが「洪水の調節」という効果を発揮しました。ダムが無かった場合に比べて、川の水位が約「39cm」下がっていたということになります。(詳しくは下の図をご覧ください。)また、9月19日～21日には台風15号の影響により累計で約289ミリの大雨を記録しましたが、この時も大きな被害などはありませんでした。



▲9月4日(台風12号)の様子



編集後記

平成23年もまもなく終わりますが、今年も幾度の大雨を乗り切ることができ、安堵しています。しかしながら、来年以降もダムの管理は続いていきますので、また気を引き締めてダム管理をしていきたいと思っております。来年もたくさんの方にダムを訪れていただければ幸いです。

